

シリーズ
30
間瀬3区

静かな里に漲る活気

■一年中でもっともにぎやかな季節も終え、秋の気配とともに、普段の静けさが少しずつもどってきた間瀬地区……。

そして、今月号の「おじゃまします」——地域情報ネットワーク」は、楽しかった夏の余韻を残しながら、今月の秋まつりに向けて再び活気づきはじめた間瀬三区におじゃましてみました。

間瀬といえばやっぱり夏。八月には、避暑や墓参りの帰省客などで地区全体が一気にぎわう季節でもあります。

「間瀬地区は、やっぱりこの季節が一番で

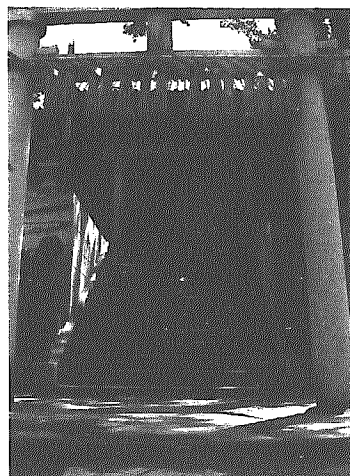


今夏も大勢の海水浴客で賑わった間瀬海岸も秋の気配が漂う。

すね。うちの三区内には、家屋が六十戸ほどありますが、実際に住んでいるのが四十一世帯、あとの二十戸ほどが空き家なんです。しかしこの夏場になると里帰りしてこられた人たちで、どの家にも明かりが灯ります。ですから、地区内全体がパツと明るくなるんですよ」とニコリ話す区長の田中四郎さん。ほんとうにことしの夏も、大勢の帰省客で地区の様相も一変。久しぶりに会う人たちとのあいさつや昔話を交す光景があちこちに見られる同地区です。

そんな間瀬三区、現在、世帯数が四十一戸、人口は百十三人と、間瀬地区では位置的、戸数的にもちょうど中間といった地区で、区内には間瀬地区公民館、間瀬郵便局、八幡神社などもあり、文字どおり間瀬地区の中心といった地区です。

「三区の紹介といっても、これといって区独自で活動することもほとんどないですね。皆さんもご存じのとおり、間瀬はもともと一村でしたから、何をやるにしても全区合同でやることが多いんです。学区・地区合同運動会、春・秋のお祭り、それに盆踊りなんかはその代表格でしょうか。中でも運動会では各区とも一生懸命です。うちの三区も一致団結してがんばっているんですが成績はいま一つ、でも参加することで地区民同志のふれあいが一



地区民の守り神である八幡神社

層深まっていくって感じでとてもうれいすね」と区長さん。それに、「ことしの盆踊り大会、今まで以上に地区の皆さんから楽しんでもらおうと、仮装大会や抽せん会なども実施し、当日は本当に大勢の人たちから喜んでいただき大盛況でした。これからも、このようなイベントなどを通して地区の活性化を図っていかたいんですけどね」と、これからの地域活性化についてこうも話す間瀬区

長会代表も務める田中さん。最後に、「いまの間瀬地区は、三区をはじめとして、少しずつ過疎化しています。それに嫁問題、宅地の少なさなどいろいろな問題もあります。

でも、先の暗いことばかりは言ってはいられません。これからはじまる海岸埋立てなどで環境条件もグーンと変わってくるはずなんです。ですから、間瀬地区としても全区一体で村おこしや地域の活性化を進めていかなければならない時代だと思えます」とこれからの地区発展を願う田中区長さんでした。

間瀬3区
ミニデータ

(人口と世帯)	
男	43人
女	70人
世帯	41世帯
(H2年8月1日現在)	



間瀬3区区長
田中四郎さん
(69歳)

平成二年度技能検定のお知らせ

技能検定は、技能者の技能習得意欲を高め、社会的地位の向上を図ることに、産業の振興・発展に寄与することを目的に、技能水準を一定の基準で検定する国家検定制度です。技能検定に合格すると、特級、一級及び単一等級は労働大臣が、二級は県知事が合格証書を交付し、技能士の称号が与えられます。

- 受験申請書の受付：10月1日から10月18日まで
- 実技試験：平成2年12月10日から平成3年2月28日
- 学科試験：平成3年2月3、10、17日
- なお申込み及び詳しい問い合わせは：新潟県職業能力開発協会（新潟市新光町15-2、☎025-283-2155）へ

新潟県立自然科学館 催物案内

- ▼天体観望会 ▼日時：9月12日、21日各日とも午後7時～9時 ▼対象：小学生以上 ▼参加料は無料です ▼ぶんちゃん製作教室 ▼日時：9月15日午前10時～午後3時 ▼定員：30人（小学5年以上） ▼参加料：200円（94まで申込必要） ※その他、プラネタリウムを常時放映中。詳しくは、県立自然科学館（☎025-283-3331）